

令和8年度(2026年度)第1回函館市地域包括支援センター運営協議会 会議録

○ 開催日時 令和8年(2026年)7月29日(水) 18:30～20:00

○ 開催場所 函館市役所 8階大会議室

○ 会議内容

1 開 会

2 議 事

(1) 地域密着型サービスの運営に関する事項

ア 地域密着型サービス事業者等の指定等について 資料1

(2) 地域包括支援センターの運営に関する事項

ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部
を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について 資料2

イ 令和8年度(2026年度)函館市地域包括支援センター体制
について 資料3

ウ 令和8年度(2026年度)函館市地域包括支援センター収支
予算について 資料4

エ 令和7年度(2025年度)函館市地域包括支援センター活動
実績について 資料5

参考資料1

オ 令和8年度(2026年度)函館市地域包括支援センター活動
計画について 資料6

参考資料2

3 その他

令和7年度(2025年度)「福祉拠点」自立相談支援機関実績報告 . . . 資料7

4 閉 会

○ 出席委員(10名)

齋藤征人委員, 船橋優子委員, 川口篤也委員, 川村曜補委員, 高橋淳史委員,
金澤圭祐委員, 柏原美之委員, 張磨仁委員, 村田亮二委員, 高森秀雄委員

○ 欠席委員(1名)

二本柳美夏委員

○ 地域包括支援センター(10名)

あさひ 四戸管理責任者, こん中央 福島管理責任者, ときとう 長谷山管理責任者,
ゆのかわ 京谷保健師, たかおか 松野管理責任者, 西堀 赤石管理責任者,
亀田 常野管理責任者, 神山 酒井管理責任者, よろこび 澁谷管理責任者,
社協 伊原管理責任者

○ 傍聴者 9名

○ 市関係者(保健福祉部)

(地域包括ケア推進課 福祉拠点担当) 建部主査

(介護保険課) 高木課長 若崎主査

(高齢福祉課) 萬矢課長, 二木主査, 金丸主査

(指導監査課) 米澤主査

○ 事務局(函館市保健福祉部地域包括ケア推進課 支援体制担当)

田中課長, 辻屋主査, 石黒主任, 高村主任技師

○ 会議要旨

1 開 会

2 議事

(1) 地域密着型サービスの運営に関する事項

ア 地域密着型サービス事業者等の指定等について

齋藤会長

地域密着型サービス事業者等の指定等について, 事務局から説明願いたい。

米澤主査

(資料1「地域密着型サービス事業者等の指定等について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料1について, 意見・質問等はないか。

特にないようなので, 協議会として意見がないということで, 次にまいりたい。

(2) 地域包括支援センターの運営に関する事項

ア 第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅
介護支援事業所の選定について

齋藤会長

第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について, 事務局から説明願いたい。

若崎主査

(資料2「第1号介護予防支援事業および指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所の選定について」に基づき説明)

齋藤会長

事務局の説明および資料2について, 意見・質問等はないか。

不勉強で恐縮だが, 「受託なし」と「0」は違うのか。

若崎主査

当初, 「受託をしない」と回答していたが, 受託をすることに変更になった事業所であり, 「0」に修正していない状況であるため, 精査の上, 次回からの資料は訂正させていただきたい。

齋藤会長

他に意見・質問はないか。
特にないようなので、次にまいりたい。

イ 令和８年度（２０２６年度）函館市地域包括支援センター体制について

齋藤会長

令和８年度函館市地域包括支援センター体制について、事務局から説明願いたい。

事務局

（資料３「令和８年度（２０２６年度）函館市地域包括支援センター体制について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料３について、意見・質問等はないか。
配置基準職員数は表の上では特に問題はないが、職員は足りている感じが。足りていない感じが。

工夫をしてやっているが、現状、なかなか厳しいという状況があるのか。

他に意見・質問はないか。
特にないようなので、次にまいりたい。

ウ 令和８年度（２０２６年度）函館市地域包括支援センター収支予算について

齋藤会長

令和８年度函館市地域包括支援センター収支予算について、説明願いたい。

事務局

（資料４「令和８年度（２０２６年度）函館市地域包括支援センター収支予算について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料４について、意見・質問等はないか。

高森委員

資料を拝見し、令和８年度の収入計約６億４,２４８万円は、市からの委託料だけではなく、介護報酬や法人からの繰入金、その他収入などを合算した、市内１０か所の地域包括支援センター全体の収入予算であることを理解した。また、各センターでは、事業計画や前年度実績等を踏まえ、必要な人件費や事業費を積み上げて収支予算書を作成する仕組みであること

も理解した。そのうえで、市から各地域包括支援センターへ支払われる委託料について、どのような考え方や基準に基づいて算定され、各センターへ配分されているのか、例えば、担当圏域の高齢者人口、配置職員数、人件費、相談件数などが、委託料の算定や各センターへの配分にどのように反映されているのかについて、基本的な考え方や算定の流れについて伺いたい。

また、資料3の説明の際に、人員配置について不足しているという話があったため、そのことについての考えも説明願いたい。

事務局

御質問ありがとうございます。

地域包括支援センターの委託料の算定に関する考え方について、圏域ごとの高齢者人口に基づき、各包括支援センターの3職種の配置基準職員数が決められている。

例えば、高齢者人口6,000人未満の圏域の場合は3人配置、6,000人以上8,000人未満の場合は4人配置となっており、その職員数に応じて人件費および事務費等の積算を行っている。

なお、こちらの委託料の予算については、令和4年度から令和9年度までの6年間を債務負担行為により設定しており、法人繰入金が発生している主な原因として、経験年数の長い職員の昇給に伴う人件費の増加や、昨今の物価高騰などが挙げられることから、令和10年度予算に向けて、適正な委託料のあり方について、引き続き検討してまいりたいと考えている。

高森委員

配置基準については理解した。この基準は函館市独自の基準、例えば、3人のところを4人にするなど調整可能なものか。

事務局

基本的には2000人ごとに1人の配置としている。

齋藤会長

それは函館市の考え方として、人数調整は可能なものか。

時間を要する回答とのことで、一度保留とし、後ほど回答をいただくこととしたい。

人員配置について、表面上は各センターでやりくりしているものの、実態としては厳しい状況にあるとの肌感覚があるとのことで、これについて市としての考えを聞きたいとのことであったが、いかがか。

高森委員から補足はあるか。

高森委員

難しい質問であったため、いずれも次回改めて、お話を伺えれば良い。

齋藤会長

事務局としては回答保留ということでよいか。

事務局

はい。

高森委員

丁寧なご説明ありがとうございます。私は委員として二期目となるが、これまでは資料の数字を見てただけで、その中味や根拠について考えることがなかったが、たまたま今は、根拠を知りたくなって質問させてもらった。

齋藤会長

高森委員から2点ほど事務局に伺いたい旨があったので、今回は保留とするが、次回の協議会の冒頭で事務局から説明願いたい。

他に意見・質問はないか。

特にないようなので、次にまいりたい。

エ 令和7年度（2025年度）函館市地域包括支援センター活動実績について

齋藤会長

令和7年度函館市地域包括支援センター活動実績について、事務局から説明願いたい。

事務局

（資料5「令和7年度（2025年度）函館市地域包括支援センター活動実績について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料5について、意見・質問等はないか。

特に事例報告について、前回協議会での意見を踏まえて報告いただいたので、委員の皆様から感想やご質問、また、エールがあると現場としては、嬉しいのではないかなと思うが、いかがか。

高橋委員

ケアマネジャーは介護のサービス調整、自立支援、対象者の何をもって自立かという部分があるが、それだけでは解決できない生活環境や家族の問題など、年々、非常に複雑化しており、どのように解決するかということは、ケアマネジャー1人では頭がパンクしてしまう状況も少なくないと思う。

ケアマネジャーと医療福祉関係者の中で、虐待を通報する義務や理解について、非常に進んでいるのは当然だと思う。通報の件数が増えているということは、当然、減らしてはいけない

ことであり、取り組みはもちろん評価されることだと思うが、その一方で、支え手、担い手の方が疲れてきているという現状が正直ある。

現場のケアマネジャーや支えてくれる地域包括支援センターも 1, 2 件の話ではなく、当然、複数のケースを抱えながら同時進行で支援していることが少なくないと思う。そこら辺を 1 つ 1 つ潰していくしかないが、今回の事例を読ませていただきながら、振り返ってみたが、やはり、1 人では解決できない問題を一緒に力になってもらい、支えていくことだと思う。

松野氏からのケースの話で良い言葉だったと思ったことがあり、「何があっても寄り添いましょう」と、研修を聞いたことがある。支援に対する姿勢はなかなか数字に出にくいですが、地域包括支援センターはそうした仕事も行っていることを評価いただければと思う。

齋藤会長

現場へのエールと受け取った。ありがとうございます。

その他、質問・意見はないか。

張磨委員

令和 7 年度の活動実績について説明していただき、参考になり、地域包括支援センターの皆様が大変一生懸命やっていることがわかり、改めて感謝したい。

その中で、高齢者と関わりの少ない機関への周知の強化ということを重点取組としてあげており、民間企業に重点的に広報紙を配布したという報告があったが、実績報告の 4 ページにおいて、民間企業の方がさらに相談件数は 3 割強増加しており、その他に医療機関も 3 割強増加しているが、これは特別な何かがあったのか。

また、高齢者虐待の防止に関する啓発について、相談通報者の内訳の中で、「親族・家族」が年度を追うごとに減少しており、これはどのような傾向があるのか。

齋藤会長

4 ページの関係機関からの相談件数について、医療機関の増え方の部分と、スライド 6 ページの高齢者虐待の相談通報者内訳の中で、「親族・家族」が少しずつ減少している傾向が見られることについて、背景や把握していることがあれば、事務局から回答願いたい。

事務局

医療機関からの相談件数増加については、高齢者と関わりの少ない関係機関に対しての広報啓発の強化の効果とも考えられるが、内容の詳細については、地域包括支援センターの方から、お答えいただけるとありがたい。

齋藤会長

1 点目の質問に関して、医療機関に対して、特段働きかけたということや工夫をしたことはあるか。増え方に起因するような要因で思い当たることはあるか、各包括の方、いかがか。

このままでは、自然増加という話になるが、いかがか。松野氏から、何か思い当たるか。

包括たかおか 松野管理責任者

以前は、医療機関に対して、積極的に広報啓発していた時期もある。
最近ではケース支援時の連携において、顔の見える関係が進んでおり、また、医療介護連携支援センターの活動の中で、医療従事者と介護従事者の接点が増えているため、効果が出ている可能性がある。おそらく、そういうことが影響している気はしていた。

齋藤会長

確からしい推測と考えられる。

他に包括の方から意見はないか。

包括ゆのかわ 京谷課長

医療介護連携支援センターの活動の中で、特に重点的にここ数年かけて取り組んでいることが、相互理解で医療の立場から見た介護、介護の立場から見た医療ということで、「相互理解を深めよう」というテーマで、数年積み重ねて、研修会を行うなど、取り組んでいる。その中で、相手がどのような本来業務をしているのか、どのようなことをして欲しいのか、強みは何かなど、お互いに理解が深まることで、少しずつではあるが、相談しやすくなっていると感じている。

また、地域包括支援センターや病院がケースを支援する中で、お互いに進捗を報告し合うなどの積み重ねが、病院の相談員と地域包括支援センター職員のつながりや顔の見える関係が深まっている一因と考えられる。

齋藤会長

ありがとうございます。よくわかりました。そんな背景がありそうである。

それでは、スライド6枚目の相談通報者の内訳で、「親族・家族」が減少している傾向についてはいかがか。

事務局

はっきりしたことではないが、例えば、家族の介護疲れや家族自身が実際にSOSを出せなくなっているというような、潜在的なリスクがあると考えられる。

その他に考えられることがあれば、包括の方から回答願いたい。

齋藤会長

「親族・家族」が減少し、「知人・近隣」は増加しているという状況であるが、包括の方から何かあるか。

包括こん中央 福島管理責任者

「親族・家族」からの相談が減少しているというよりは、「知人・近隣」、「介護支援専門員」、「民生児童委員」からの連絡が早くなっているのではないかと感じている。この数字は、一番最初に相談した方を積み上げている数字のため、減少しているというよりはそれよりも早い相談が増えているということであり、皆さんの見守りの目や通報して良いという気持ちが広まってきていると感じる。

齋藤会長

包括の方が共感している雰囲気がある。

張磨委員

年間ごとに重点目標を決めることは、大変重要なことだと思うが、皆さんの話を聞いて、地域包括支援センターの皆さんが地域への周知活動、啓発活動に力を入れてきた結果が出ていると改めて感じた。

齋藤会長

その他、質問・意見はないか。

それでは、令和7年度函館市地域包括支援センターの活動実績についての意見交換や協議は以上とさせていただきます、次にまいりたい。

オ 令和8年度（2026年度）函館市地域包括支援センター活動計画について

齋藤会長

令和8年度函館市地域包括支援センター活動計画について、事務局から説明願いたい。

事務局

（資料6「令和8年度（2026年度）函館市地域包括支援センター活動計画について」に基づき説明）

齋藤会長

事務局の説明および資料6について、意見・質問等はないか。

約束の時間過ぎているが、ご了承いただきたい。

認知症カフェは、いろいろな人たちが参加して良い取組だが、認知症や認知症の家族の方は、どれくらい参加しているのか。包括の方から伺いたい。包括ときとうは一生懸命取り組んでいる感じが、いかがか。

包括ときとう 東氏

本日、認知症カフェを丸井今井で開催した。認知症の方と家族の方など、様々な方々が参加し、学生のボランティアが非常に協力してくれるため、若い世代と関わりながら交流し、若い世代の活動

を見ながら、昔に帰っていけるような感じで進めている。

また、それと同時に地域の方も協力してくれており、イベントの度に顔を出してくれている。

認知症のイメージを変えていくことに関しては、認知症カフェというよりは、誰でも来て良いということを前面に出している。各包括も同様だが、昨年度の取組がしっかりあって、そこから広げていくような活動をしていると思う。

もちろん当事者や家族も来ていた。認知症の方や家族が集まる場所、行く場所が少なくなったという意見があるため、各包括では様々な取組の中でも、誰でも参加して良いという機会を作っているかと思う。

齋藤会長

ありがとうございました。

誰でも参加して良いが、認知症の方と認知症の家族が参加していないと意味がないので、様々な方々が参加しているということと理解した。僕の両親は認知症のため、そのような所に出向くことができれば良いなと思いながら、うらやましく思っていた。

その他、質問・意見はないか。

生活支援体制整備事業について、外に出てくる地域の方ばかりではなく、なかなか外に出てくる機会のないフレイルの方や出不精の方々をどのように地域に引き出すかというのも大事な事業かと思うが、そのことについて、何か工夫はあるか。第2層生活支援コーディネーターの方が良いので、包括の方から伺いたい。

包括こん中央 福島管理責任者

生活支援体制整備事業ということで取り組んでいるが、今年で3年目になる中部カフェを中部小学校区域で行っている。当初と違い、小学校や関係機関を絡めて取り組んでおり、高齢者ではないが、障がいを持っている方や今まで外に出たことがない方、また、圏域の中で、子どもと一緒に外に出るのが大変な保護者の方などが参加している。そのため、高齢者支援というよりは自立相談支援機関の支援や障がい関係機関につなげる機会になっている。

学校と繋がるように、認定こども園、母子ホームなどの人との繋がりができ、それらの機関の方々が、「ぜひこの機会に自分たちも担い手として入れてほしい。」という話があり、参加するだけではなく、企画者として入ってくれている。

齋藤会長

わかりました。ありがとうございます。1つでも事例を伺えれば、広い意味で地域支援に繋がっているということを実感できた。

一方で、第1層生活支援コーディネーターはどのような感じか。

第1層協議体について、僕はあんまりよくわかっていないが、どのような感じか。

市の方で行っているのではないかと思うが。

第2層協議体は報告書を見ると、地域ケア会議を行っている報告があるため、第2層生活支援コー

ディネーターの活動はよくわかるが、第1層協議体は何をやっているのか。会議を持ってない地域もあるが、会議はあるのか。

事務局

年1～2回の会議を行っている。今年度はまだ行っていない。

齋藤会長

会議はどのような感じか。言葉を選ばずに言うと、コーディネーターの活動を追認しているだけという協議体もあるため、函館市はどうか。

事務局

第1層生活支援コーディネーターが出席し、活動報告や活動計画を発表し、それに対して委員からの意見を伺っている。委員は関係機関も含まれているため、それぞれの活動についての情報を得る場にもなっている。

齋藤会長

わかりました。ありがとうございます。第1層協議体がきちんと機能していれば良いと思うことと、また、第2層のコーディネーターと協議体、第1層のコーディネーターと協議体が連携できていることを願う意図で伺った。

その他、質問・意見はないか。

特にないようなので、次にまいりたい。

3 その他

令和7年度（2025年度）「福祉拠点」自立相談支援機関実績報告

齋藤会長

令和7年度「福祉拠点」自立相談支援機関実績について、事務局から説明願いたい。

事務局

（資料7「令和7年度『福祉拠点』自立相談支援機関実績」に基づき説明）

齋藤会長

ご意見・ご質問等ないか。

特になし

4 閉 会